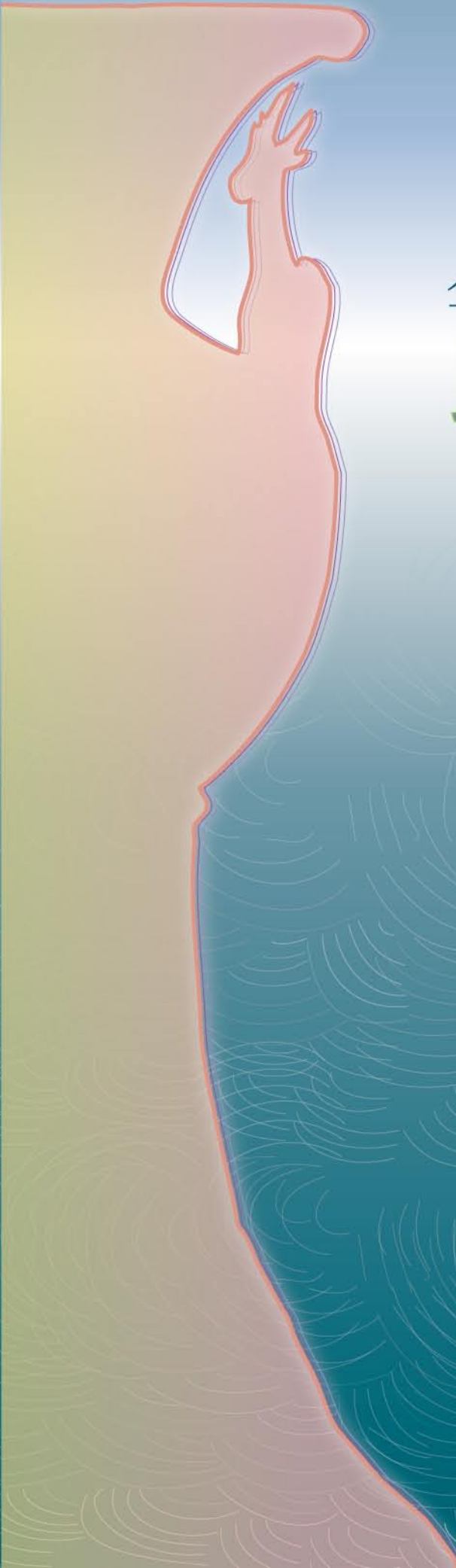


姫路市埋蔵文化財センター平成17年度企画展「見野長塚古墳」 展示品目録

番号	品名（ふりがな）	員数	保管
1	須恵器 鹿裝飾付台付壺（すえき しかそうしょくつきだいつきつぼ）	1箇	姫路市教育委員会
2	須恵器 子持台付壺（すえき こもちだいつきつぼ）	1箇	姫路市教育委員会
3	須恵器 子持台付壺	1箇	姫路市教育委員会
4	須恵器 器台 脚部（すえき きだい きゃくぶ）	1箇	姫路市教育委員会
5	須恵器 器台 脚部	1箇	姫路市教育委員会
6	須恵器 器台 脚部	1箇	姫路市教育委員会
7	須恵器 子持台付壺 壺部（すえき こもちだいつきつぼ つぼぶ）	1箇	姫路市教育委員会
8	須恵器 器台 脚部	1箇	姫路市教育委員会
9	須恵器 台付壺（すえき だいつきつぼ）	1箇	姫路市教育委員会
10	須恵器 高杯（すえき たかつき）	1箇	姫路市教育委員会
11	須恵器 有蓋台付壺（すえき ゆうがいだいつきつぼ）	1箇	姫路市教育委員会
12	須恵器 甕（すえき はそう）	1箇	姫路市教育委員会
13	須恵器 有蓋高杯（すえき ゆうがいたかつき）	1箇	姫路市教育委員会
14	須恵器 高杯	1箇	姫路市教育委員会
15	須恵器 高杯	1箇	姫路市教育委員会
16	土師器 高杯（はじき たかつき）	1箇	姫路市教育委員会
17	須恵器 平瓶（すえき へいへい）	1箇	姫路市教育委員会
18	須恵器 提瓶（すえき ていへい）	1箇	姫路市教育委員会
19	須恵器 提瓶	1箇	姫路市教育委員会
20	須恵器 壺（すえき つぼ）	1箇	姫路市教育委員会
21	須恵器 壺	1箇	姫路市教育委員会
22	須恵器 壺	1箇	姫路市教育委員会
23	須恵器 壺	1箇	姫路市教育委員会
24	朱の付着した蓋杯 蓋（しゅのふちやくしたふたつき ふた）	4箇	姫路市教育委員会
25	朱の付着した蓋杯 身（しゅのふちやくしたふたつき み）	4箇	姫路市教育委員会
26	貝の入った杯身（かいのはいったつきみ）	1箇	姫路市教育委員会
27	須恵器 蓋杯 身	21箇	姫路市教育委員会
28	須恵器 蓋杯 蓋	21箇	姫路市教育委員会
29	金耳環（きんじかん）	2対	姫路市教育委員会
30	滑石製模造品（かっせきせいもぞうひん）	1箇	姫路市教育委員会
31	碧玉製管玉（へきぎょくせいくだたま）	7点	姫路市教育委員会
32	ガラス玉	38点	姫路市教育委員会
33	馬具 楯円形鏡板付轡（ばぐ だえんけいかがみいたつきくつわ）	1箇	姫路市教育委員会
34	馬具 唐草文透彫心葉形杏葉（ばぐ からくさもんすかしぼりしんようがたぎょうよう）	2箇	姫路市教育委員会
35	鉄矛先（てつほこさき）	1口	姫路市教育委員会
36	家形埴輪（いえがたはにわ）	1箇	姫路市教育委員会
37	石見型盾（いわみがたたて）	1箇	姫路市教育委員会
38	蓋形埴輪（きぬがさがたはにわ）	1箇	姫路市教育委員会
39	動物埴輪	5点	姫路市教育委員会
40	人物埴輪	2点	姫路市教育委員会
41	不明器財埴輪（ふめいきざいはにわ）	2点	姫路市教育委員会
42	円筒埴輪（えんとうはにわ）	7点	姫路市教育委員会



企画展

見野長塚古墳

2006. 1. 8(日) ~4. 23 (日)

姫路市埋蔵文化財センター

- 凡 例
1. 本書は平成18年1月8日（日）から4月23日（日）まで、姫路市埋蔵文化財センターで開催する企画展「見野長塚古墳」の展示解説として作成した。
 2. 表紙デザインは、三輪悠代による。
 3. 今回の企画展は当センター職員が担当した。
 4. この図録の編集は大谷が行い、北野弘子の助力を得た。

姫路市埋蔵文化財センター
Himeji City Archaeological Research Center
〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元414番地1
TEL (0792)52-3950 / FAX (0792)52-3952
URL <http://www.city.himeji.hyogo.jp/maibun-center/>
E-mail maibun-center@city.himeji.hyogo.jp

ごあいさつ

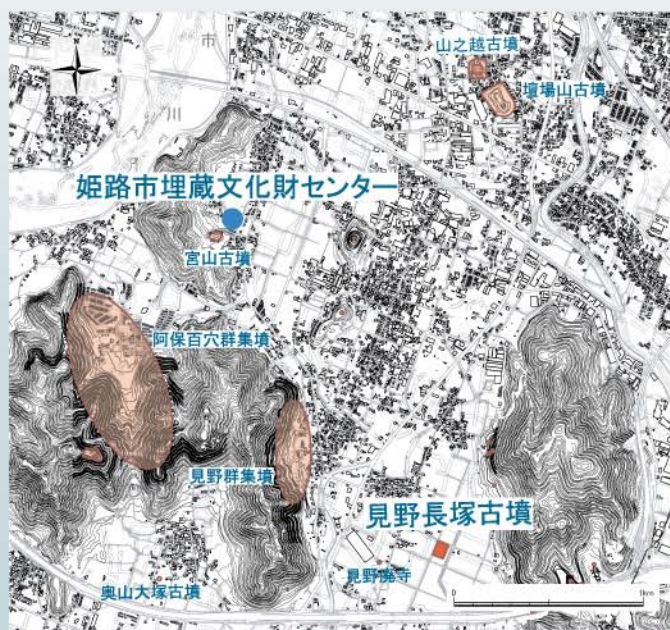
見野長塚古墳は本センターの南東約2km、四郷町見野に位置する前方後円墳です。6世紀に築かれたこの古墳は、近隣の壇場山古墳・山之越古墳・宮山古墳などに続いて地域を治めた首長を葬ったと考えられる重要な遺跡です。

平成6年に姫路市教育委員会が行った発掘調査によって、古墳の全貌が明らかになるとともに、装飾付須恵器をはじめとする多くの遺物が出土し、翌年には兵庫県の史跡に指定されました。

本企画展では、出土遺物を中心に見野長塚古墳の調査成果をご紹介します。これを機に古墳の価値を実感していただくとともに、地域の歴史にもあらためて目を向けていただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査および企画展の開催にご協力を賜りました関係各位に厚くお礼申し上げます。

見野長塚古墳の概要



周辺の遺跡



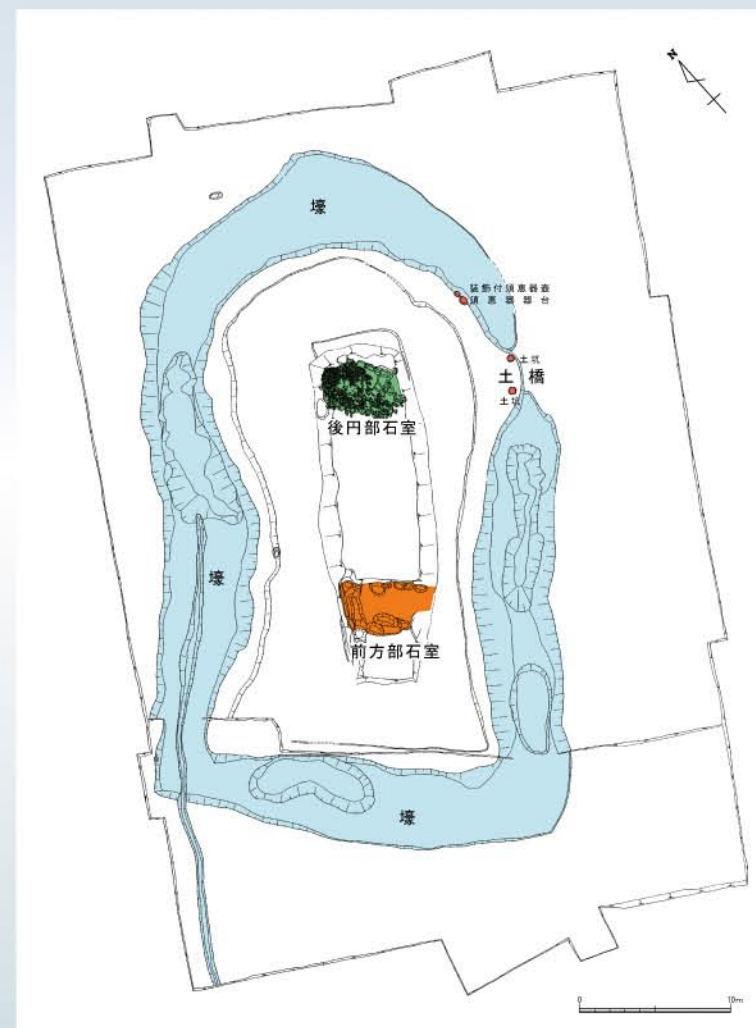
現在の様子(南西から)

姫路市四郷町見野字長塚に所在する古墳時代後期の前方後円墳。市川東岸地域、八家川流域の平野部の高台に位置し、白浜方面を望むことができる立地である。

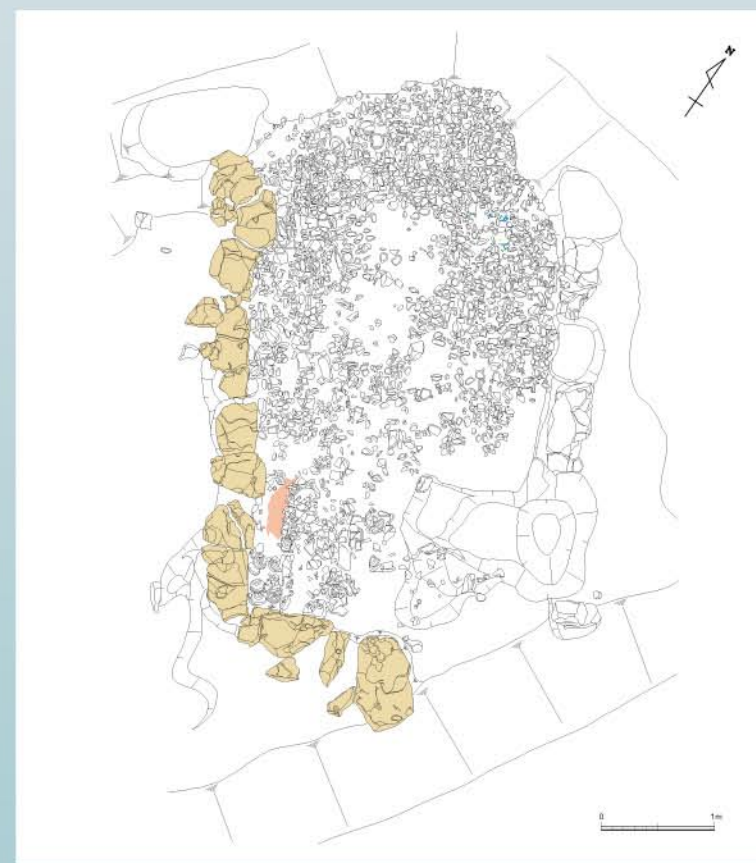
前方部を南に向け、周囲には幅約6m、深さ約50cmの周壕（堀）をめぐらす。墳丘の規模は南北約34m、周壕を含めると約45mとなる。前方部と後円部の二ヶ所に右片袖式の横穴式石室を築き、ともに入口は東側へ開いていた。後円部石室の入口前では、壕に土橋を設けている。

埋葬されたのは、壇場山古墳や山之越古墳などに続く時期のこの地域の首長が想定される。姫路平野における前方後円墳の最終段階の古墳として重要である。

後世の開発により墳丘は大きく破壊されていたが、平成6年（1994年）に姫路市教育委員会による発掘調査が行われた。後円部石室の床面や周壕などが確認され、多数の須恵器や埴輪などが見つかった。平成7年3月28日に兵庫県史跡となった。



見野長塚古墳平面図 S=1:500



後円部石室平面図



古墳の全景 後円部から前方部を望む



前方部横穴式石室 東側から

発掘調査の時点ですでに石室の石材まで解体されており、石材を据付けた痕跡しか確認できなかった。痕跡からは後円部と同じく東側に開口する右片袖式の石室が想定される。



後円部横穴式石室 東側から

東へ開口した右片袖式の横穴式石室。玄室は東西が4.9m以上、幅約2.5mある。天井と側壁のほとんどが失われているが、床面上から金耳環や鉄器、多数の須恵器などが出土している。